



# UKCホールディングス株式会社

## 2010年(平成22年)3月期 第3四半期決算説明

---

2010年2月12日



株式会社 UKCホールディングス



# 目次

## 事業セグメント

事業セグメント	4
---------	---

## 第3四半期決算概況

2010年3月期 第3四半期決算 サマリー	6
2010年3月期 第3四半期決算 半導体及び電子部品事業	7
2010年3月期 第3四半期決算 電子機器事業	8
2010年3月期 第3四半期決算 システム機器事業	9
2010年3月期 第3四半期決算 財政状態 バランスシート	10
2010年3月期 第3四半期決算 財政状態 キャッシュ・フロー	11

## 経営統合進捗

経営統合進捗	13
--------	----

## 2010年3月期業績予想

2010年3月期業績予想	15
--------------	----



# 事業セグメント

# 事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー, メモリー, マイコン, システムLSI, その他半導体
	電子部品・その他	液晶パネル, バッテリー, 光学ピックアップ, ACF※, 基板, 複合部品, その他一般電子部品
電子機器事業	電子機器	各種VTR, カメラ, ビデオプリンター, 音響映像関連機器
	記録媒体品	磁気テープ, 光ディスク, データ記録用ディスク
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品, セキュリティ関連製品
	その他	電子機器の修理, AV機器のレンタル, 教育用ソフトウェア
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa) R/Wモジュール, リモコン電子キーシステム, 医療用監視システム, セキュリティシステム
	その他	品質検査受託業務, 分析受託業務

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film): 中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料





# 第3四半期決算概況

# 2010年3月期 第3四半期決算 サマリー

(億円)	09/3期3Q(参考) USC3Q+KTS3Q		10/3期3Q		前年比 (参考)	09/3期3Q累計(参考) USC3Q累計+KTS3Q		10/3期3Q累計		前年比 (参考)
	金額	比率	金額	比率		金額	比率	金額	比率	
売上高	732.8	100.0%	675.4	100.0%	△7.8%	1,846.1	100.0%	1,516.0	100.0%	△17.9%
売上総利益	45.0	6.1%	35.9	5.3%	△20.1%	98.1	5.3%	75.5	5.0%	△23.0%
SGA	32.3	4.4%	30.8	4.6%	△4.7%	64.2	3.5%	58.1	3.8%	△9.5%
営業利益	12.6	1.7%	5.1	0.8%	△59.7%	33.8	1.8%	17.3	1.1%	△48.8%
経常利益	▲3.4	-0.5%	5.1	0.7%	-	17.4	0.9%	13.5	0.9%	△22.3%
純利益	▲5.7	-0.8%	55.0	8.1%	-	3.5	0.2%	57.9	3.8%	+1568.8%

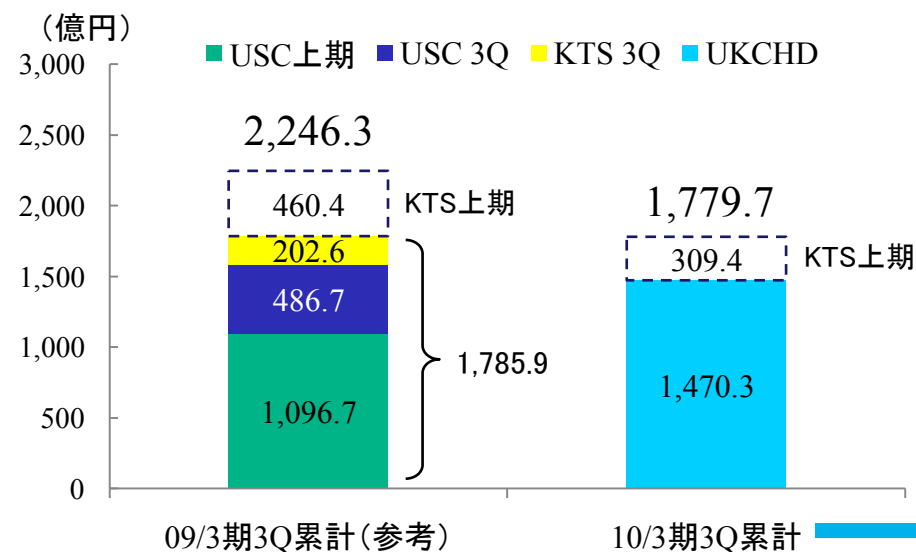
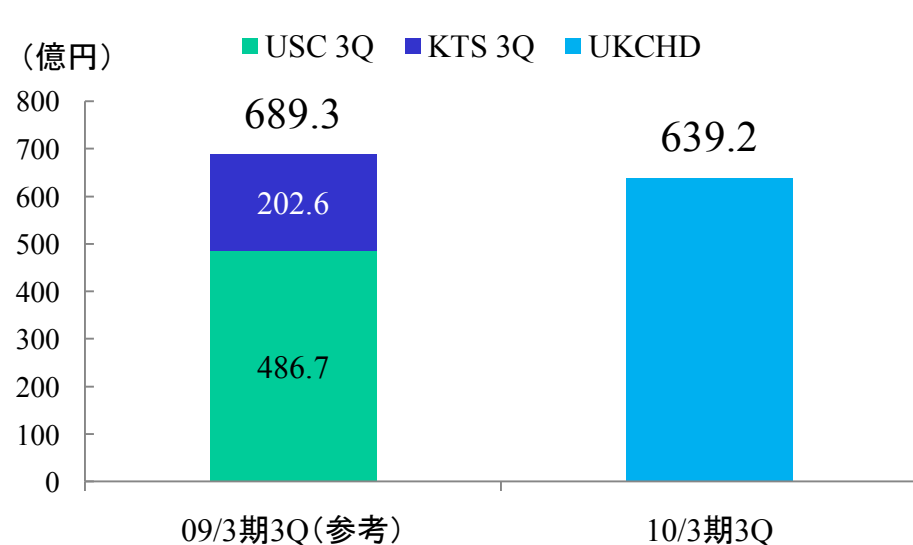
- ▶ 当第3四半期連結累計期間(09年4月1日～09年12月31日)の連結経営成績は、会計上の取得企業であるユーエスシー(USC)の当第3四半期連結累計期間の連結経営成績を基礎に、共信テクノソニック(KTS)の当第3四半期連結会計期間(09年10月1日～09年12月31日)の連結経営成績を連結
- ▶ 3Qにおいては、主力事業である半導体及び電子部品事業は、高級デジタルスチルカメラや携帯電話向けの電子部品に対する比較的安定した需要に支えられ、底堅く推移
- ▶ SGAは早期退職者募集制度の実施等の施策により減少。為替差損も前年度より改善
- ▶ 特別利益として、KTS株式取得原価と時価純資産の差額である負ののれん 51.8億円の発生益(一括償却)を計上

# 2010年3月期 第3四半期決算 半導体及び電子部品事業

3Q売上高: 639.2億円      3Q累計売上高: 1,470.3億円

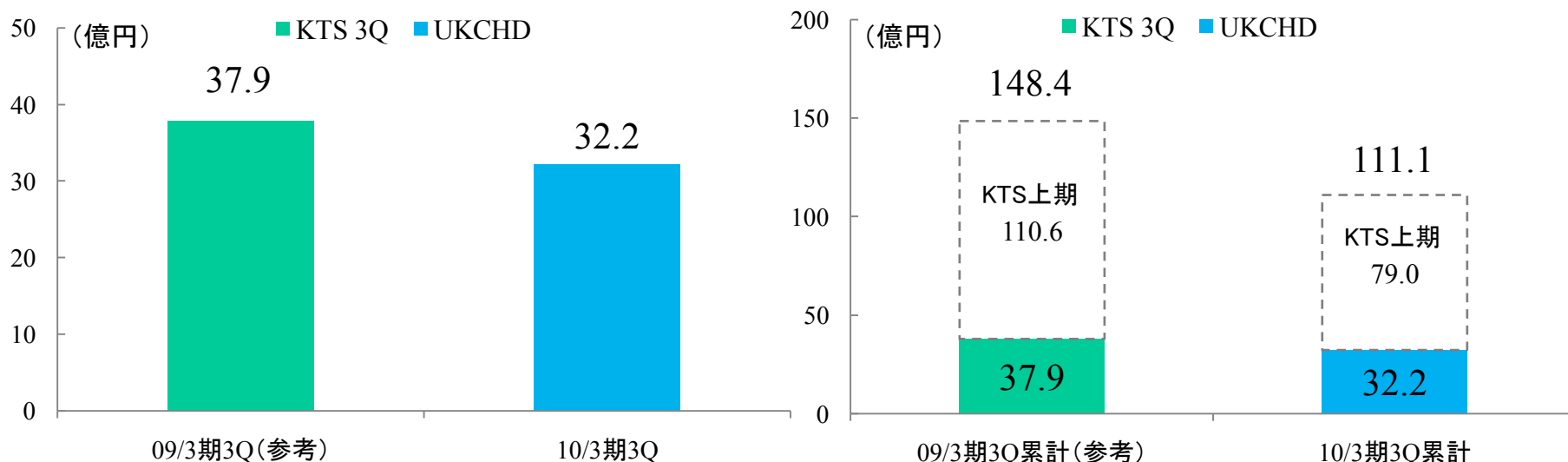
➤ 売上高の前年度割れ、価格下落は継続も、高級デジタルスチルカメラ向けや携帯電話向けのソニー製イメージセンサー、TV向けのサムスン電子製液晶パネルを中心に比較的堅調に推移

➤ EMS (Electronic Manufacturing Service) 事業は景気減速による需要減及び単価下落の影響により低調に推移



3Q売上高: 32.2億円      3Q累計売上高: 32.2億円

- 顧客の設備投資抑制傾向は続き、当社グループの販売も全体としては低調
- 文教市場向け(学校ICT環境整備事業関連ビジネス等)や韓国におけるマシンビジョン販売は好調。イメージセンシングビジネスの顧客である国内半導体装置メーカーも定常生産を再開し、今後に期待
- 放送市場では、3D編集システム等の3D関連需要に期待



※ 09/3期3Q 37.9億円には、10年3月期連結対象から除外したKTS子会社平成堂の売上高 2.2億円が含まれる

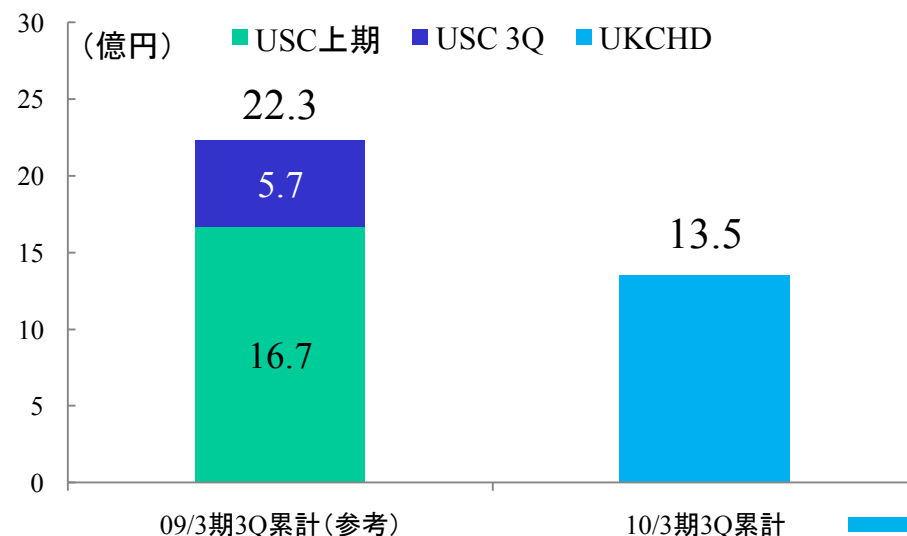
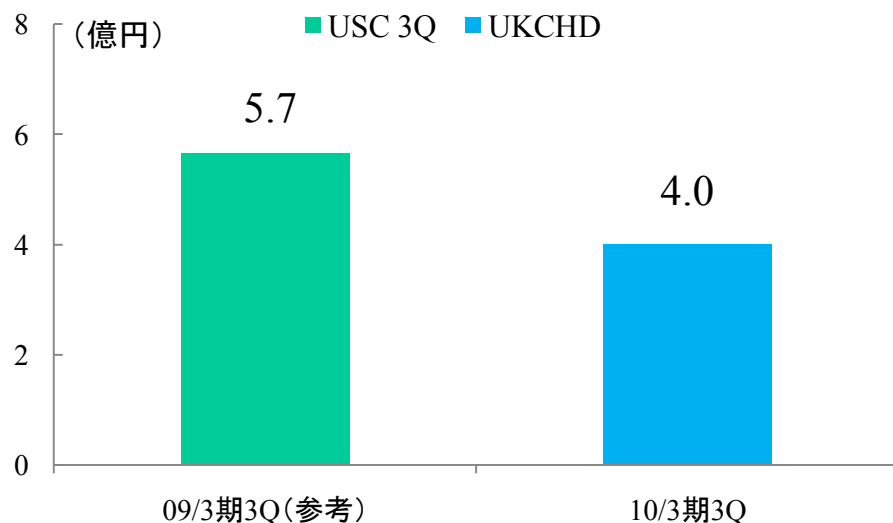




3Q売上高: 4.0億円

3Q累計売上高: 13.5億円

- 低価格帯ノートPCへの需要シフトによる高付加価値機能搭載機種種の販売減少の影響が大きく、フェリカ関連売上高は減少。自社開発案件数は増加傾向
- 半導体・電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービスについても景気悪化に伴う設備投資の抑制等により、試験数・売上高が減少。新規顧客及び既存顧客との新たな商談の開拓等により、引き合い件数は増加傾向



# 2010年3月期 第3四半期決算 財政状態(バランスシート)

2009年10月1日付けの経営統合にあたって、会計上の取得企業であるUSCがKTSの2009年10月1日時点の資産・負債を時価で取得したものとして会計処理

(単位: 億円)	USC 09/9月末	KTS 09/9月末	UKCHD 09/12月末
現預金	68.2	48.9	122.8
売上債権	407.5	192.5	637.8
棚卸資産	98.6	24.5	108.3
その他	14.8	11.9	29.0
<b>流動資産計</b>	<b>589.1</b>	<b>277.8</b>	<b>897.9</b>
<b>固定資産計</b>	<b>35.0</b>	<b>11.9</b>	<b>46.4</b>
<b>総資産</b>	<b>624.1</b>	<b>289.7</b>	<b>944.4</b>
仕入債務	258.6	119.1	384.3
短期借入金※	83.3	25.9	135.8
その他	11.6	7.5	19.7
<b>流動負債計</b>	<b>353.5</b>	<b>152.5</b>	<b>539.9</b>
長期借入金	0.0	40.0	39.7
その他	3.6	5.9	10.1
<b>固定負債計</b>	<b>3.6</b>	<b>46.0</b>	<b>49.8</b>
<b>純資産</b>	<b>267.0</b>	<b>91.2</b>	<b>354.7</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>42%</b>	<b>30%</b>	<b>36%</b>

## 【3Qの資産・負債の状態】

➤取引高の増加に伴い、売上債権及び仕入債務が増加したこと等により、総資産が944.4億円、負債が589.7億円となった。

➤純資産の部は、自己株式を取得(4.4億円)したこと等により、354.7億円となった。

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む

## 【キャッシュ・フロー3Q累計】

### ■営業活動によるキャッシュ・フロー ▲51.4億円

主に、売上債権の増加 205.6億円の影響を税金等調整前四半期純利益(負ののれんの影響控除後) 11.8億円、仕入債務の増加 131.1億円及び棚卸資産の減少 23.1億円が一部相殺

### ■投資活動によるキャッシュ・フロー 3.6億円

主に、定期預金の払戻による収入 15.6億円を同預入による支出 11.7億円が一部相殺

### ■財務活動によるキャッシュ・フロー 48.8億円

主に、短期借入金の純増 59.1億円を長期借入金の返済による支出 1.2億円、自己株式の取得による支出 4.4億円及び配当金の支払 3.9億円が一部相殺

### ■当第3四半期末の現金及び現金同等物 110.2億円

経営統合(株式移転)に伴う増加額:43.1億円



# 經營統合進捗



## 【シナジー創出】

- クロスセル(両社の商材の相互販売)  
携帯電話向け・TV向け商材の海外販売について検討中
- 両事業会社リソースをフル活用した新商材獲得  
両事業会社の保有するコネクション、エンジニア、マーケティング機能の融合・有効活用により、アジア有力商材の獲得・拡販に向けて活動中

## 【拠点統合・再編】

- 拠点統合
  - ・国内営業所(大阪)の拠点統合は3月予定
  - ・本社(HD及び両事業会社本社)拠点統合、物流拠点統合は予定通りFY2010 2Qで進捗中
- グループ会社再編  
2010年4月1日ターゲットで、吸収分割スキームにより事業会社子会社をホールディングス子会社とする予定。グループ会社のガバナンス強化とともに、シナジー実現を加速



# 2010年3月期業績予想

# 2010年3月期業績予想

(億円)	09/3期(参考)① USC通期, KTS下期*合算		10/3期予想② 2009/10/1公表		10/3期予想③ 2010/2/12修正		③/②	③/①
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	増減率	(参考) 前年同期比
売上高	2,339.4	100.0%	2,030.0	100.0%	2,100.0	100.0%	+3%	△10%
売上総利益	132.6	5.7%	105.0	5.2%	110.5	5.3%	+5%	△17%
SGA	95.5	4.1%	87.5	4.3%	87.5	4.2%	+0%	△8%
営業利益	37.1	1.6%	17.5	0.9%	23.0	1.1%	+31%	△38%
経常利益	20.9	0.9%	17.0	0.8%	18.0	0.9%	+6%	△14%
純利益	3.4	0.1%	48.0	2.4%	55.0	2.6%	+15%	+1497%

※ 共信テクノソニックの2009年3月期下期は通期業績から上期業績を単純控除したものの

- 不透明であった4Qも高級DSC向け及び携帯電話向けを中心に堅調に回復しており、下半期売上高では前年度を上回る見込(前年度実績1,226億円, 今年度見込1,258億円)
- 負ののれん一括償却: 前回見積もり40億円に対し、実績は51.8億円(特別利益)
- 特別損失として現段階で発生が予測される統合関連費用(本社等移転・統合に関連した費用等)を見込む
- 期末配当金予想: 1株あたり35円(従来予想通り)



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: [ir@ukcgroup.com](mailto:ir@ukcgroup.com)

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。